

社会新報

社会民主党全国連合機関誌宣伝局

〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1

週刊(水曜日発行) 定価180円 1ヶ月700円 送料180円

号外三春版 2012年7月

原発はいらない さようなら原発10万人集会 この声で東京・代々木公園を埋め尽くそう



原発を求め6万人が集う

人、人、人で埋まった明治公園(毎日新聞より)

— 昨年9月、東京・明治公園で開催された原発集会 —

さようなら原発 1000万人市民の会

内橋克人 大江健三郎 落合恵子 鎌田慧 坂本龍一
澤地久枝 瀬戸内寂聴 辻井喬 鶴見俊輔



田村地区からバスが出ます 参加費2000円(昼・夜弁当代)

船引町公民館 7:00~三春町役場 7:30~郡山東インタ 7:40~東京
東京~郡山東インタ 20:00~三春町役場 20:10~船引公民館 20:30

— 定員になり次第、申込は締め切りますので了解願います。 —

子どもや孫たちの未来を守るため一緒に行動しませんか!

すべての原発を廃炉にし、 放射能から子どもたちを守ろう

福島第1原発で発生した世界最大級の過酷事故によって、日本の豊か自然—
田んぼや畑、森、川、海、そして雲と空も放射能によって汚染せられました。
原発周辺で生活していた多くの人は、家と仕事も失い、故郷を追い、背を向く
— になっ いて帰るのかわからない状態です。

福島のみならず、さよなら地域のくびと、とりわけ子どもとやりとり生物に、これから
どのような影響がでるのかと予測できません。

メルタラ(炉心溶解)とメルタレー、そして原子炉建屋の素燃発という
あつはたらしい最悪事態は、いまだ収束せず、圧力容器から溶け出た核燃
料の行方さえ把握できない状況です。

さらに、迫りくる大地震が、原発を制御不能の原爆に転化する恐怖を現
実のものにしてしまっています。にもかかわらず、政府は、電力会社や財界の要求に
応じて、原発の再稼働を認めました。

日本に住むひとびとの3割以上が「原発は嫌だ!」と考えています。
世界の人びとも不安を感じています。しかし、その思いを目に見える形で表現でき
れば、原発を護持・存続させようとする暴かに勝つことができます。

私たちは今こそ、日本の指導者たちにはっきりと、「原発はいらない」という声
を突きつけよう。

電気はいまど足りています。さらに節電ができます。いのちと健康を犠牲に
する経済などありません。利権まみれの原発はどうにでもです。

反省なき非倫理、無責任、決断なき政治に対して、とう一度、
力強く、「原発嫌だ!」の声を集めよう!

(参加申込・問合せ先)

社民党三春町議

佐藤 弘まで

三春町北町40-2 TEL 62-3566



すべての犠牲としわよせを国民に強制する野田首相 今こそすべての原発の廃炉を!!

＝ 二度と福島の子劇を繰り返させないため 大飯原発再稼働反対 ＝



2011年3月12日 1号機爆発 (福島中央テレビ)

野田首相は、原発事故の原因究明と収束とほとんど進んでいない中、強引に大飯原発の再稼働を決定しました。

原発事故から1年3ヶ月、今とばかり、17万人の人々が、住み慣れた故郷を離れ、不自由な避難生活を余儀なくされています。

家族を、仕事、生活、健康を、そして未来と希望を奪われた人々の苦しみや悲しみ、痛みや願いを

野田首相は、どれだけ真実に受けとめているのか。

事故への反省と何を示さないまま、「私の責任で再稼働だ」と、取柄もない責任を軽く口にし、電力、財界と一体となって 原発再稼働を押し進める無責任極まりない口先だけの対応を許すわけにはいきません。

いまとばかり、大量の放射性物質が全国にまき

散らされ、放射性廃棄物や使用済核燃料の処理方法の道筋まで不明なままです。

この犠牲としわよせを国民に転嫁し、安全性の追求を無視してまで、原発再稼働を急ぐ民主党、野田首相に、あつため、原発反対を強く訴えます。

**致死量の10倍の放射能
建屋内に近づくことさえできない
強い地震で崩壊の恐れ**

水素爆発をおこした3基の原子炉は、核燃料で炉心が溶けるメルトダウンを引き起こし、建屋内の放射線量は、毎時29シーベルト、致死量の10倍、数分で死亡するという高濃度で、血まじりです。

また、1～4号機の炉心には3108本の使用済核燃料が保管されており、強い地震、冷却水の停止による再臨界の危険性が指摘されています。

炉心に溶け落ちた核燃料とどうなっているのか、注入している冷却水とどこに流れているのか、まったくわかりません。

原子炉内を確認し、溶けた燃料を取り出す方法と、廃棄物を処理する技術もいまだ不明なままです。

フェリス川でさえ、26年たつとも、放射能が高く、原子炉内の様子さえ調べることもできない(ばかりか)、燃料棒を取り出す方法さえ見つかっていません。

日本の原発は、活断層といわれる地震の巣の上に建てられており、事故がおこれば、取りかえしのつかない大惨事を引き起こします。二度と福島の子劇を繰り返させないためにも、今こそすべての原発の廃炉を強く求めます。

**電力不足はまったくのウソ!
ピークは年間7日程度 わずか30時間
午後1時～3時の2時間だけ!?**

日本の発電総量は、電力会社と自家発電を合わせた2億8千万kWもあり、過去最高の電力ピーク時でも1億8千万kWで、余っている電力は1億kWもあります。電力のピーク時とは、夏場の特定の時間であり、年間7日程度、それも午後1時～3時の2時間だけ、年間わずか30時間におさまります。(最大で)休止している火力発電所や、余っている他の電力会社からまわせば、充分におさまります。

5月以降、全国の原発がストップしてしまったり、おたふたふ刻な電力不足は生じています。しかし「マンマッパ」、原発は「たふたふ」で充分です。

放射能に汚染された日本を子孫に残すことはできません。頑固に反原発 社民党